

早期景気観測調査

【12-1月期調査結果報告書】

令和7年2月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的 : 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関 : 甲府商工会議所
3. 調査実施時期 : 令和7年1月17日(金)～1月31日(金)
4. 調査対象 : 当所会員 115 事業所
5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数 : 66 件
7. 有効回答率 : 57.4 %
8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【12-1月期の動き】

**全体業況は 1.5 と前期と比較し改善
仕入単価悪化、業種によっては底を打った結果。
向こう3ヶ月の業況は ▲ 21.2 と悪化する見通し。**

12-1月期の全業種総合の業況DIは、▲1.3（前期比2.8ポイント増）と、2期振りの改善となった。仕入単価DIは▲93.9（前期比26.4ポイント減）と全業種で悪化。サービス業は全事業所が悪化と回答。業種別では小売業が昨年同時期と比較し40.2ポイント減と苦戦した結果となった。

業種別は以下の通り。

●製造業：業況DI **改善**（ 6.3：前期比 11.9 ポイントの増加 ）

改善： 売上DI 採算DI 従業員DI 悪化： 仕入単価DI

不変： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 31.3** と悪化する見通し。

●建設業：業況DI **改善**（ 15.4：前期比 15.4 ポイントの増加 ）

改善： 採算DI 従業員DI 悪化： 売上DI 仕入単価DI

不変： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **7.7** と悪化する見通し。

●卸売業：業況DI **改善**（ 11.1：前期比 36.1 ポイントの増加 ）

改善： 採算DI 従業員DI 悪化： 売上DI 仕入単価DI

不変： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 33.3** と悪化する見通し。

●小売業：業況DI **悪化**（ ▲ 23.5：前期比 **17.6** ポイントの減少 ）

改善： 従業員DI 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI

不変： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 17.6** と改善する見通し。

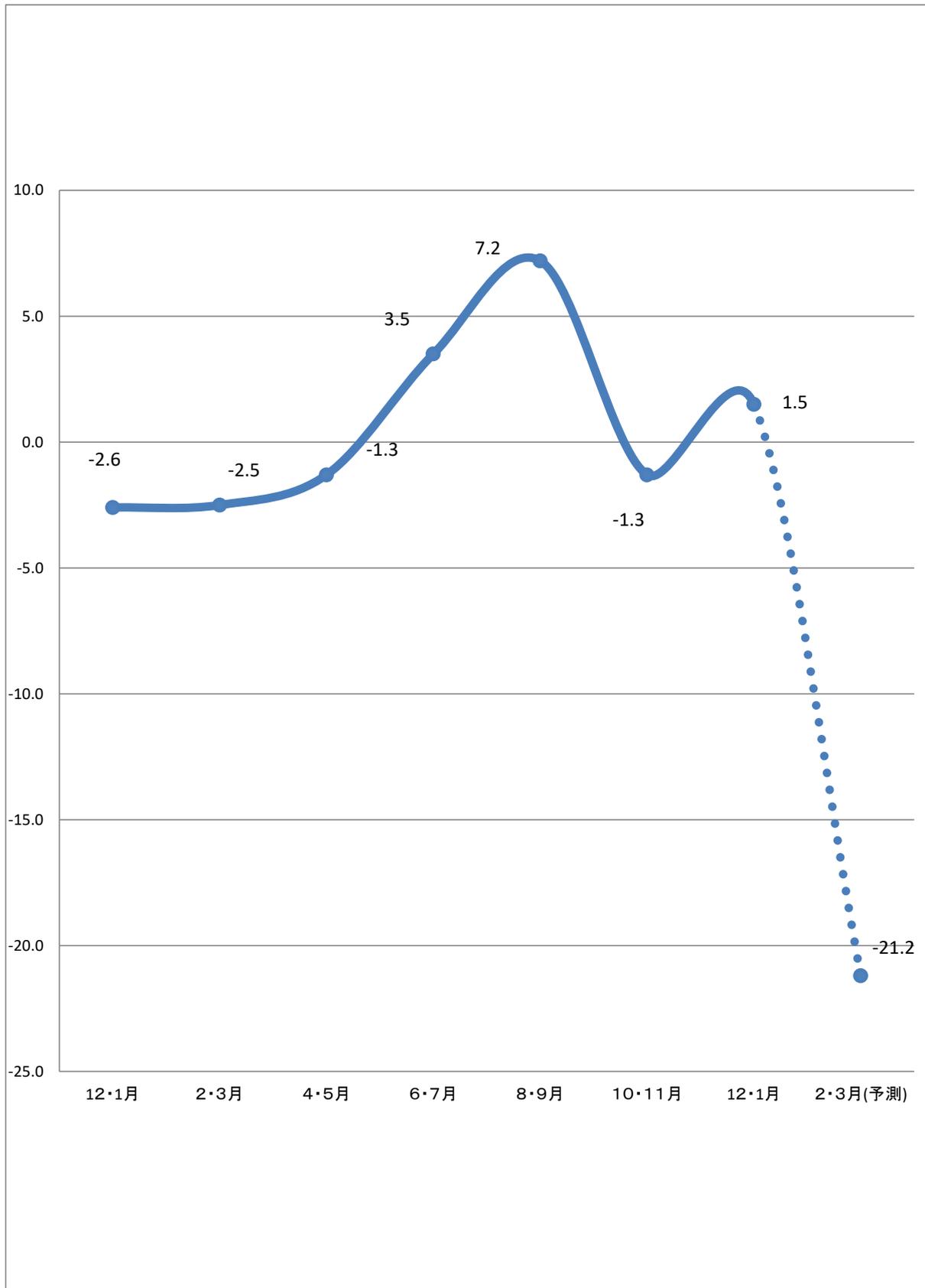
●サービス業：業況DI **悪化**（ 9.1：前期比 **29.4** ポイントの減少 ）

改善： なし 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 従業員DI

不変： 金融貸出しDI

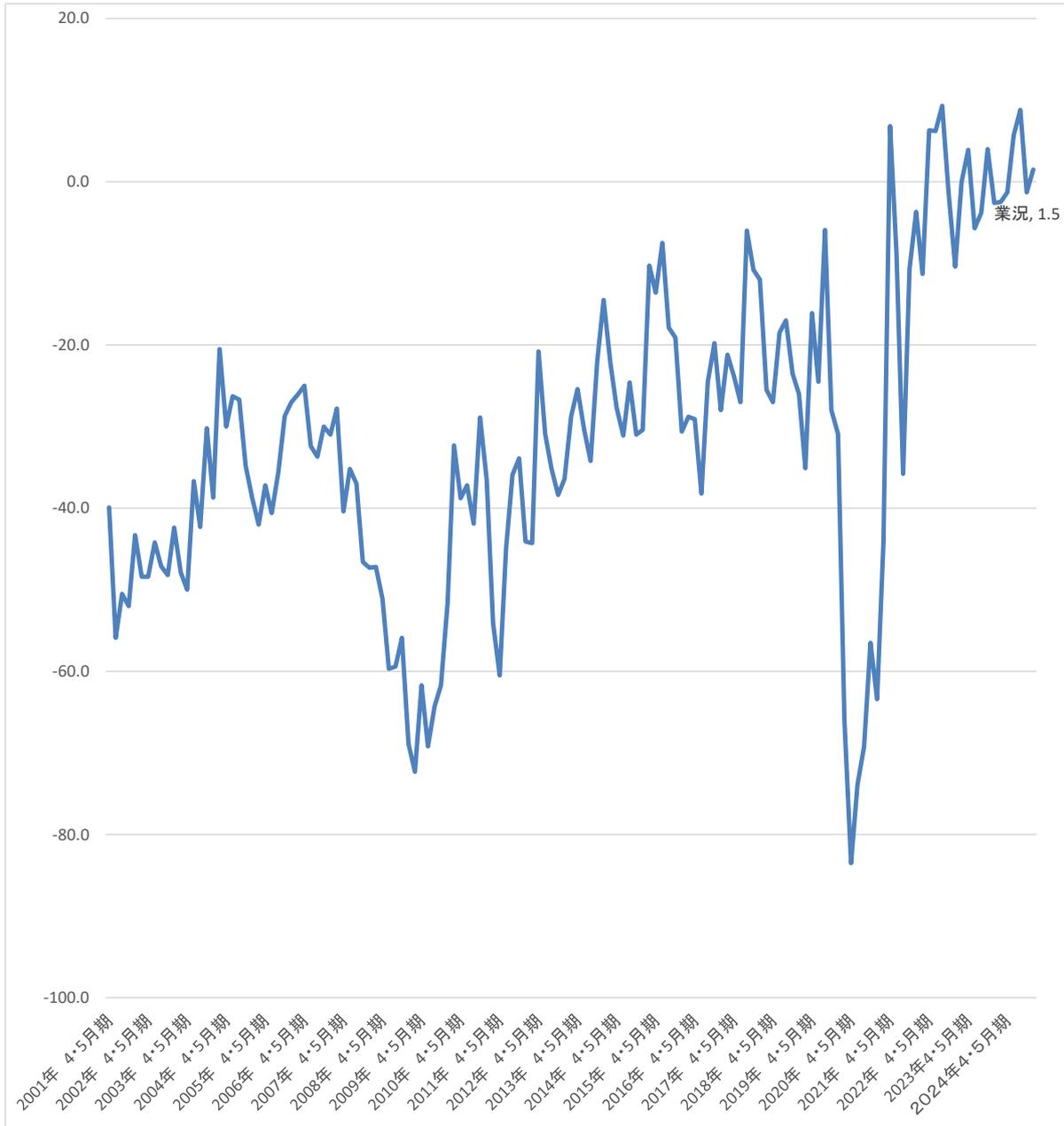
向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 36.4** と悪化する見通し。

業況DIの推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2025年12・1月期)

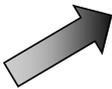
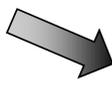


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

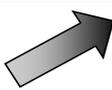
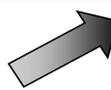
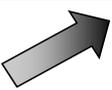
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
1.5	▲ 21.2	▲ 6.1	▲ 21.2	▲ 93.9	40.9	▲ 1.5

全業種総合の業況DIは、 **1.5** （前期比 **2.8** ポイントの増加）となった。

●項目別(前期比)

売上DI:悪化 (12.5 → ▲ 6.1) 従業員DI:改善 (33.8 → 40.9)

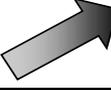
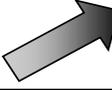
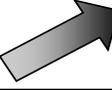
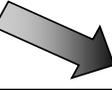
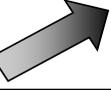
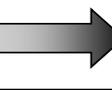
採算DI:改善 (▲ 26.3 → ▲ 21.2) 金融貸出しDI:悪化 (▲ 1.3 → ▲ 1.5)

仕入単価DI:悪化 (▲ 67.5 → ▲ 93.9)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 21.2** と悪化する見通し。

◆業種別

○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
6.3	▲ 31.3	6.3	▲ 18.8	▲ 93.8	12.5	0.0

製造業の業況DIは、 6.3 (前期比 11.9 ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

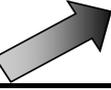
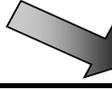
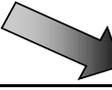
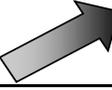
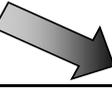
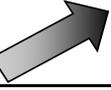
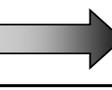
売上DI:改善 (▲ 11.1 → 6.3) 従業員DI:改善 (0.0 → 12.5)

採算DI:改善 (▲ 33.3 → ▲ 18.8) 金融貸出しDI:不変 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:悪化 (▲ 77.8 → ▲ 93.8)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 31.3 と悪化する見通し。

○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
15.4	7.7	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 100.0	61.5	0.0

建設業の業況DIは、 15.4 (前期比 15.4 ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

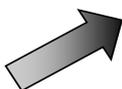
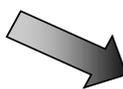
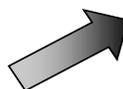
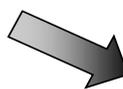
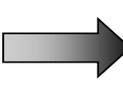
売上DI:悪化 (6.3 → ▲ 15.4) 従業員DI:改善 (43.8 → 61.5)

採算DI:改善 (▲ 18.8 → ▲ 7.7) 金融貸出しDI:不変 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:悪化 (▲ 56.3 → ▲ 100.0)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 7.7 と悪化する見通し。

○卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
11.1	▲ 33.3	33.3	11.1	▲ 88.9	66.7	0.0

卸売業の業況DIは、 11.1 (前期比 36.1 ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

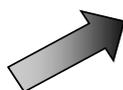
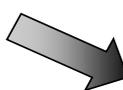
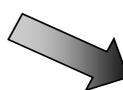
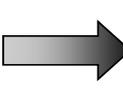
売上DI:悪化 (37.5 → 33.3) 従業員DI:改善 (50.0 → 66.7)

採算DI:改善 (▲ 31.3 → 11.1) 金融貸出しDI:不変 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:悪化 (▲ 62.5 → ▲ 88.9)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 33.3 と悪化する見通し。

○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 88.2	35.3	▲ 5.9

小売業の業況DIは、 ▲ 23.5 (前期比 17.6 ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

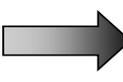
売上DI:悪化 (0.0 → ▲ 35.3) 従業員DI:改善 (29.4 → 35.3)

採算DI:悪化 (▲ 35.3 → ▲ 41.2) 金融貸出しDI:不変 (▲ 5.9 → ▲ 5.9)

仕入単価DI:悪化 (▲ 52.9 → ▲ 88.2)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 17.6 と改善する見通し。

○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
9.1	▲ 36.4	0.0	▲ 36.4	▲ 100.0	45.5	0.0

サービス業の業況DIは、 9.1 (前期比 29.4 ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:悪化 (38.5 → 0.0) 従業員DI:悪化 (53.8 → 45.5)

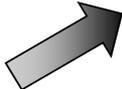
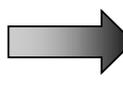
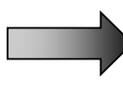
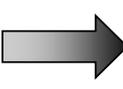
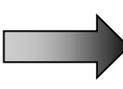
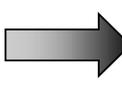
採算DI:悪化 (▲ 7.7 → ▲ 36.4) 金融貸出しDI:不変 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:悪化 (▲ 92.3 → ▲ 100.0)

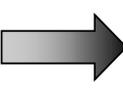
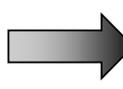
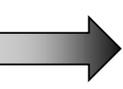
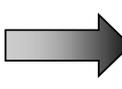
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 36.4 と悪化する見通し。

◆業種別詳細

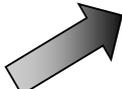
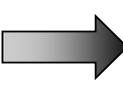
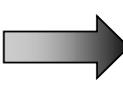
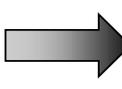
○製造業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

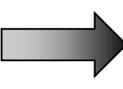
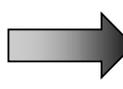
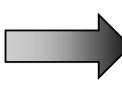
○製造業(工業製品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

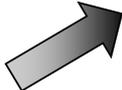
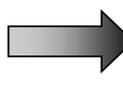
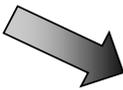
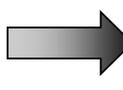
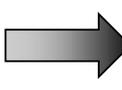
○製造業(宝飾)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

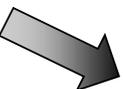
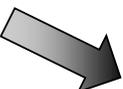
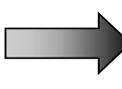
○建設業(建築)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

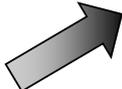
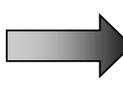
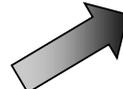
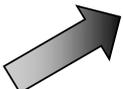
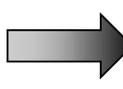
○建設業(土木)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

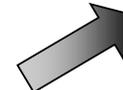
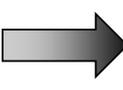
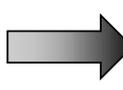
○建設業(鉄鋼)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

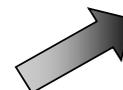
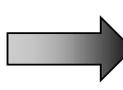
○卸売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

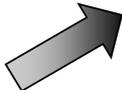
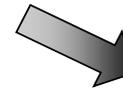
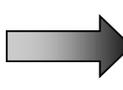
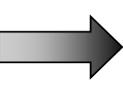
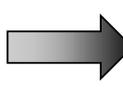
○卸売業(繊維)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

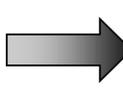
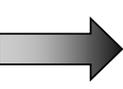
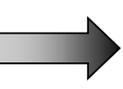
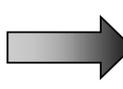
○卸売業(その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

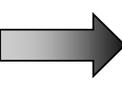
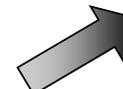
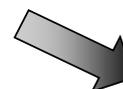
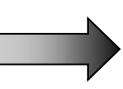
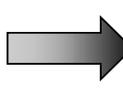
○小売業(大型店)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

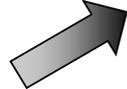
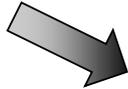
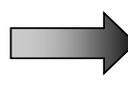
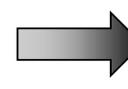
○小売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

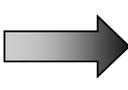
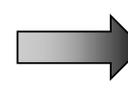
○小売業(事務用品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

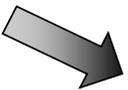
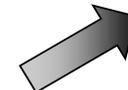
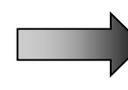
○小売業(趣味・日用品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

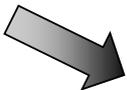
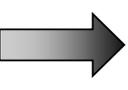
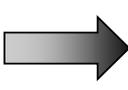
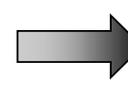
○サービス業(ホテル・旅館)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

○サービス業(観光)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

○サービス業(飲食その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆中小企業の声(現状や直面している課題等)

【製造業】

製造業(宝飾)

- ・商材の特性上年末の需要が多く、近年の単価高が追い風となり業況は改善した。
- しかし好転は一時的なもの予想され、以降の業況は仕入高の上昇もあり横ばいか悪化の可能性が高い。

製造業(食品)

- ・仕入単価アップと値上げを繰り返している今までにない動きが活発化している。
- 価値創造していかなければ実現できないので改めて自社の存在意義を認識したところ
- ・12月商戦については予想に反しおせち事業が健闘し売上は昨年並みを確保。一方で慢性的な円安を要因とした原材料価格高騰、燃料費上昇による運賃・保管料の高騰は利益を大きく圧迫。
- 3月より再びの値上げを予定も改善できるか未知数

製造業(工業製品)

- ・売上は前回同様に堅調に推移。北米向けも好調。仕入単価は上昇を続けているが上げ幅は落ち着きつつある。
- 今後の見通しは前回同様為替レート等不確定要因はあるが引き続き堅調に推移する見通し

【建設業】

建設業(土木)

- ・従業員不足・職人不足で受注しても先に進まない。
- ・通期で人手不足(社員・協力事業者)新規採用進まず。ICT、i-constructionの効果が少しずつ出てきている。

内業のICTも進みだした。

建設業(建築)

- ・資材の値上げが受注に影響している。

【卸売業】

卸売業(その他)

- ・業界によって格差が見られる

【小売業】

小売業(趣味)

- ・売上の減少が続いている。仕入れ経費等の出費を抑えて何とかなっている状況。
- ・冬の寒さで客足が遠のいている。通りの客足が全くない。

小売業(大型店)

- ・コストコ出店は県内全体に薄く広く影響があるものと推測される。
- また5月には石和に大型小売店のオープンが予定され影響がでる。インフレ継続によるコスト増も懸念材料
- ・シーズンごとに実施している「くじ」の企画で参加人数が新記録を達成した。クリスマスイブは平日の為前年比92%
- 年末年始は元旦を休館したが、営業日が減ったにも関わらず対前年比101%と好成績であった。元旦を除くと年末年始は前年比111%近く

【サービス業】

サービス業(観光)

- ・燃料補助金変更に伴う軽油価格の上昇が懸念材料となります。
- ・仕入価格高で経費がかさみ利益が減少。今後もガソリンが上昇する。

サービス業(ホテル・旅館)

- ・人手不足が続いています。物価上昇には逆らえません。

サービス業(飲食)

- ・すべての仕入れが仕入価格10%前後上昇。冬場のガス暖房費等増加。
- 予約ベースは好調維持だが1月はキャンセル件数も異常に増加(体調不良が多い)